

子育て世代・市長タウンミーティング事前質問及び回答一覧

大テーマ：Ⅰ 妊娠・出産、Ⅱ 子育て支援、Ⅲ 保育・教育、Ⅳ その他

大テーマ	中テーマ	小テーマ	質問内容（概要）	回答
Ⅰ	1. 産後ケアサービス		① 産後ケアサービスへの補助金支給、人材育成の予定はあるのか伺いたいです。	現在、母子保健事業として、助産師による産後の訪問指導（1回）を行っていますが、今後これを拡充し訪問回数を増やしたり、期間（産後1年未満）の拡充についても、在宅助産師と検討し、その際、補助金も合わせて検討したいと考えています。
	2. 病院以外の出産施設など		② 病院以外の出産施設（自宅出産も含め）を検討していただけますか？また、海外のようなドゥーラシステムがあると、佐渡で出産したいという方も増えるのではないかと思います。	病院以外の出産を行うには、取り扱う医師や助産師が必要となりますが、その際、医療設備も無いことからリスクは高まってしまうと思います。このため、現在、実施している方はいらっしゃいません。 ドゥーラに関しては、国家資格や免許、ドゥーラの活動を規定する法律は今のところありませんが、品川区などで産後ドゥーラの資格取得費用の一部助成制度もありますので、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
Ⅱ	1. 支援センター、児童館、学童保育	（1）支援センターや児童館の取り組み	③ 支援センターや児童館ではどんなことをされていますか？子どもたちの過ごし方など教えてもらえたら嬉しいです。	子育て支援センターは、未就園児とその保護者が利用できる施設です。保育士等が子育て中の方が抱える育児不安などの相談や指導を行うほか、親子で楽しめる様々な行事を開催し、育児支援を行っています。 児童館は、満18歳未満のお子様利用できる遊びの場です。平日は、小学生の利用が多く、施設内で友人と遊んだり、宿題や読書をしたりして過ごしています。
	1. 支援センター、児童館、学童保育	（2）支援センターの利用範囲拡大等	④ 就学児が支援センターに行けず、苦しい思いをしました。風邪の治りあけで、保育園を休ませた時に断られました。就学児も利用出来るようにして欲しいです。また、支援センターが土日休みなのが大変つらいです。持ち回りでも、支援センターをあけてもらうことはできないでしょうか。 ⑤ 支援センターのおもちゃは古いものも多く、電池が切れていたり、壊れているものも多い気がする。適宜新しいものも追加して欲しいし、壊れているものは使えるように直して欲しいです。 ⑥ 子どもと一緒に参加できるイベントをもっと色々な場所で増やして欲しいです。新潟市の「いくとびあ」のような施設や、子どもを連れて行けるカフェのような所を増やして欲しいです（遊ばせながら親はリラックスできるような）。市営でも、公営でも（保健師が在中して相談できるとなうれしい）。	就園児の利用や土日の開設なども含めて利用者のニーズを確認し、どうすればより利用しやすい支援センターになるのか、具体的な検討を進めているところです。 また、病後の児童のご利用については、病後児保育施設のご利用をお願いしています。金井保育園内にあります金井病後児保育室「ほほえみ」のご利用をご検討ください。 支援センターのおもちゃに関しては、ご不便をおかけして申し訳ございません。早速現場に指示し、点検・確認作業を行いました。 お子さまと参加できるイベントや、保健師による相談指導などを各センターで企画しています。各月の予定はホームページやFacebook掲載のセンターのおたよりでご案内していますので、是非ご利用ください。 ※子育て支援センター資料もあわせてご覧ください。

子育て世代・市長タウンミーティング事前質問及び回答一覧

大テーマ：Ⅰ 妊娠・出産、Ⅱ 子育て支援、Ⅲ 保育・教育、Ⅳ その他

大テーマ	中テーマ	小テーマ	質問内容（概要）	回答
Ⅱ	1. 支援センター、児童館、学童保育	（3）学童保育の施設開放	⑦ 学童保育で使用している行政施設を、土日でも一般解放していただけないでしょうか。	令和2年10月から日曜・祝日に佐和田児童クラブの遊戯室を開放しており、多くの方にご利用いただいています。 一方で、おもちゃの破損・紛失、トイレの汚れなど問題がある利用方法が見られます。そのような状況が続きますと利用制限をしなければならなくなりますので、皆さんが気持ちよくご利用していただけるよう協力をお願いします。
	2. 子どもの遊び場	（1）公園の遊具	⑧ 佐渡市の公園には本州と比べて遊具が無い事が多いです。金井の運動公園に少し遊具が出来たが、昔のように大型遊具を設置する計画などありませんか？	大型遊具の設置は、維持管理費が負担となり、現状としては難しいところです。市では国の交付金の対象となる老朽化した遊具の更新を基本として管理しています。 今後についても、公園遊具の安全点検を実施し、老朽化が著しいものから順次、更新することになりますので、その際には利用者のニーズに即した施設となるよう努めていきたいと考えています。
	2. 子どもの遊び場	（2）雨の日の遊び場	⑨ 雨の日の遊び場の充実をお願いします。	佐和田児童クラブの遊戯室開放のほか、18歳未満の児童が遊べる児童館（ちのわの家、畑野児童館）や羽茂B&G海洋センターのキッズスペースなどもありますので、是非ご利用ください。
	2. 子どもの遊び場	（3）屋内の遊び場 （佐和田の総合体育館）	⑩ 屋内で小学生が遊べる場所がありません。佐和田の総合体育館にはチャイルドルームが充実していますが、未就学児のみです。小学校低学年にも解放していただけますか。	佐渡市総合体育館のチャイルドルームについて、開設当初は未就学児の兄弟など、小学生の使用を認めていましたが、体力差があり、未就学児が安全に遊べないとの苦情があったことから、現在は未就学児のみの利用としていますので、ご理解ください。
Ⅲ	1. 保育園や幼稚園、小学校	（1）給食	⑪ 保育園などの給食にもっと地産品を取り入れられないでしょうか？海産物、野菜、果物を始め、多くの食材が豊富であるのに、献立表に載る地産品の品目が少ないのではと感じます。おやつについても、既製品の菓子ではなく、干し柿やふかし芋などの、素材を生かした栄養価のあるメニューを増やしてほしいと感じます。	生産量が十分な地場産食材や、流通している地場産食材は積極的に使用しています。 おやつについては、時期の食材（さつまいも、じゃがいも）などを使用し、提供できるよう努力しています。 （ふかし芋も、スイートポテト、大学芋も、青のリポテトなど）
	1. 保育園や幼稚園、小学校	（1）給食	⑫ 最近牛乳が危険だと本などが出ていますが、佐渡市の給食は牛乳を出し続けるのでしょうか？学校や保育園の給食に牛乳を廃止していただくか、せめて回数を減らしていただきたいです。	学校給食法施行規則において、学校給食は、完全給食（パン又は米飯＋ミルク＋おかず）、捕食給食（ミルク＋おかず）、ミルク給食に区分され、いずれにもミルクが含まれます。佐渡市は完全給食を提供しており、学校給食実施基準に基づき、年齢や個々の健康状態に配慮した給食を提供しています。 また、給食で提供される食材に危険なものがある場合は、国から使用禁止の通達等が出されますが、牛乳に関して通達は届いておりません。よって、今後も牛乳を提供していく予定です。

子育て世代・市長タウンミーティング事前質問及び回答一覧

大テーマ：Ⅰ 妊娠・出産、Ⅱ 子育て支援、Ⅲ 保育・教育、Ⅳ その他

大テーマ	中テーマ	小テーマ	質問内容（概要）	回答
Ⅲ	1. 保育園や幼稚園、小学校	(2) 小学校	⑬ 佐渡市全部の小学校でスキー教室を行えるようにはできないのでしょうか(対象学年は各学校に委ねるかたち)。	スキーに関しては、学習指導要領に示されていないので、必ず学校現場で扱わなければならない内容ではありません。 学校によっては、スキー教室は実施しなくても、キャンプや民泊体験などの他の行事を実施する場合があります。 学校行事の内容については、各学校に委ねられていますので、各校の特色を出してもらえればと思います。
	1. 保育園や幼稚園、小学校	(2) 小学校	⑭ 社会教育で、今年度キャンプ事業が予算にありましたがどのような内容でしょうか？	野外体験・仲間との共同生活を通じて、豊かな人間性や生きる力を養い、心身の成長を促すことを目的に、小学4～6年生を対象（募集50名）として、1泊2日のキャンプを実施します。 なお、日程、会場等が決まりましたら、改めて小学校を通じてご案内しますので、多数の方から参加していただきたいと思います。
	1. 保育園や幼稚園、小学校	(2) 小学校	⑮ 廃校になった学校で、行き場を失った本を子供たちに還元できないでしょうか？本フェスティバル等を佐渡市が主催し、イベントにして無料配布等行くと市民は喜ぶかと思います。	廃校後の図書については、使用できるものは市内小中学校及び市内図書館で使用して、古くて使用できないものは廃棄し、それ以外は廃校の校舎で保管しています。 廃校後の学校で保管している図書については、団体等から譲与に関する要望書をご提出いただければ、使用目的により団体等で使用していただくことができます。
	1. 保育園や幼稚園、小学校	(2) 小学校	⑯ 松ヶ崎小中学校「特色ある学校教育を目指す」とあるが、どれくらいの具体案があるのか、可能なのか、ぜひ市長さんのお考えを伺いたいです。	松ヶ崎小中学校では、人口減少に伴う学校の統廃合、地域の衰退を危惧しており、島留学（松ヶ崎留学）を推進し、令和3年度から第一期留学生の受け入れ体制を整備しています。日本海側最大の島の小さな学校で、子育ても含めて地域全体で応援する取組は特色の一つです。 また、昨年度より、佐渡市の全小中学校でコミュニティ・スクールが設立されました。松ヶ崎小中学校では、地域おこし協力隊の方がコミュニティ・スクールの委員に加わり、島内では先駆けて学校と地域の連携協働の活動を進めてきた学校と言えます。先日、新潟日報で紹介された「子どもの元気は地域の元気プロジェクト」は、特色ある教育活動のひとつであり、特に松ヶ崎小中学校は地域と一体化した教育がその特色と言えます。

子育て世代・市長タウンミーティング事前質問及び回答一覧

大テーマ：Ⅰ 妊娠・出産、Ⅱ 子育て支援、Ⅲ 保育・教育、Ⅳ その他

大テーマ	中テーマ	小テーマ	質問内容（概要）	回答
Ⅲ	2. 学校以外の選択肢		⑰ 学校以外の選択肢、居場所が必要な気がしています。あすなろ教育やヒューマンアカデミーなどの他に、新たにそういった場所を設ける予定はありますか？	あすなろ教室は、真野と畑野の2か所に教室を開いています。現在、それぞれ若干名の児童生徒が利用をしています。児童生徒の居場所のひとつとして活用できれば、各教室内の児童生徒同士のかかわりの機会ができ、有意義な時間を過ごすことができます。 また、昨年度8月から子ども若者相談センターで両津にあるフリースペース「はばたき」を指定して、学校以外の居場所として利用できるようになりました。それも活用いただけるとありがたいです。 まずは、現在設置されている場所の活用を進め、新たな場所づくりについては、今後の需要等を見ながら必要に応じて検討していきたいと思います。
Ⅳ	1. 飲食店への支援		⑱ 飲食店を巻き込んだ食育について、もっと気軽に親子で外食しやすい環境を整える必要性を感じます。 例えば、子供向けに味付けを薄くしていたり、食材にこだわっているなど、メニューの配慮だけでなく、子供用のいすや補助具をそろえたり、個室や座敷席を用意している飲食店を推奨し、そういった取り組みに力を入れている飲食店で親子が食事をする場合は、食事代のいくらかを市が負担して飲食店へ支払うといった支援策はいかがでしょうか？ （旬の地産品を多く提供することで、食育にもつなげることができます。）	小さいお子さんが一緒でも、安心して飲食店などをご利用していただける環境づくりは必要であると考えておりますが、飲食店の環境づくりは、行政主導ではなく、商工会等が中心となって取り組むべきものです。 市では、地産地消条例を制定し、それぞれの役割分担の下、佐渡産品の積極的な利用促進に取り組んでいるところです。
Ⅳ	2. 子育て世代のワークショップ		⑲ 先日企画課にて行った、子育て世代のワークショップで、たくさんの意見が出ていましたが、それらの意見についての市長の見解などをきいてみたいです。	子育て世代のワークショップでは、「子育てしやすい佐渡市にするには」をテーマに「佐渡市の子育て支援策の評価」や少子化を解決するため、「もう1子の出生に向けたアイデア」などについて参加された保護者の方から多くのご意見をいただきました。 市の支援策の評価については、「子どもの医療費助成」や「子育て支援センターの充実」、「妊婦検診・妊婦歯科検診の無料支援」等について一定程度的評価いただいております。一方、「こどもの遊び場が少ない」、「子育て情報が少なく分かりにくい」、また「パパママが交流できる場を設けてほしい」などのご意見もいただいています。 現在、佐和田行政サービスセンターの横に佐和田児童クラブがありますが、日曜日は遊戯場を開放し、雨の日でもお子様が遊べる環境を整えています。将来的には他の地域にも整備したいと考えています。 また、佐和田行政サービスセンターの2階、3階にある議場は、令和6年度に金井の本庁舎に移転することとなっていますので、移転後の佐和田行政サービスセンターの2階、3階を子育て世代や若者が集えるような場所にしたいと考えています。 （例えば、3階はイベントスペースや図書館、高校生が勉強できるスペースとして、2階は畳を敷いて子どもの読み聞かせやパパママの交流ができる場所など）